

きいて・めもして・こたえよう

なつまつりの ぼんおどり

なまえ _____

きくめあて 「日^ひづけ」「ばしょ」「する こと」を おとさずに ききま
しょう。

日^ひづけ・時^じこく

ばしょ（あめの とき）

ステージで する こと

ほうそうが おわったら、ひらいて もんだいに こたえましょう。

(1) なつまつりは、何時^{なんじ}から はじまりますか。あう ものに ○を つけましょう。

ア 夕方^{ゆうがた} 六時^{ろくじ}

イ 朝^{あさ} 六時^{ろくじ}

ウ 昼^{ひる} 十二時^{じゅうにじ}

(2) あめの ときは、どう なりますか。あう ものに ○を つけましょう。

ア つぎの 日^ひに なる

イ なくなる

ウ たいいくかんで する

(3) ステージで ある ものは、ぼんおどりと 为什么呢か。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

町の なつまつりの おしらせです。

なつまつりは、八月三日、土よう日の 夕方 六時から、こうえんで あります。あめの ときは、つぎの 日に なります。

ステージでは、たいこの えんそうや、ぼんおどりが あります。ぼんおどりは、だれでも いっしょに おどれます。

おまつりの あとは、くらく なるので、かならず おうちの 人と いっしょに かえりましょう。

メモのれい

八月三日（土）夕方六時 こうえん（あめ→つぎの日）

ステージ たいこ・ぼんおどり

かえりは おうちの人と

こたえと かいせつ

(1) ア（夕方 六時）

「八月三日、土よう日の 夕方 六時から」と いって いました。

(2) ア（つぎの 日に なる）

「あめの ときは、つぎの 日に なります」と いって いました。

(3) たいこの えんそう

「たいこの えんそうや、ぼんおどりが あります」の ところです。